

科目名	オートクチュール技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	オートクチュールコース オートクチュール 専攻		昼間
学年	3 年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	270	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

オートクチュールの意味を理解し、基本的な縫製技術から、高度な縫製技術を修得し、美しいシルエット創りや体型や素材に応じたパターン作製、縫製が出来る人材の育成。

【科目の概要】

オートクチュール概論、自分サイズボディ、肩パッド、テーラードスーツ、サッシュベルト、ファンデーション、ベルベットワンピース、ケミカルレースブラウス作成を通し、それぞれの体型にあった服の作りの根源を見直し、基本的な縫製技術を踏まえたうえ、高級な素材での高度な裁断、縫製技術を修得し、各個人の身体に合った美しいシルエットに仕上げる為の平面パターン及びドレーピング技術での、立体のシルエットを創り、的確なパターン作製を修得する。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1～13	テーラードスーツ 寒冷紗本身仮縫い、後の補正・パターン作成、布印しつけ	76～79	ファンデーション 後補正、本縫い、縫い代かがり、テープボーンテープ
14～18	テーラードスーツ オーガンテープ、芯すえ、くせ取り、衿づくり、組み立て	80～87	ファンデーション ファスナーつけ、グログランテープ裾まつり、仕上げ、提出
19～25	テーラードスーツ 本布仮縫い、後の補正、ダーツ 脇線 地縫い、始末	88～91	ベルベットワンピース 製図、寒冷紗半身仮縫い、地直し、両身組立て、テープ地の目
26～28	テーラードスーツ 衿、芯、テープ、胸、肩増し芯、裏地裁断、地縫い、虫どめ	92～95	ベルベットワンピース 寒冷紗両本身仮縫い、後補正、印つけ、芯据え、テープ
29～33	テーラードスーツ 見返し釦ホール、ポケット作り、ポケットつけ、袖作り	96～99	ベルベットワンピース 本布仮縫い、後補正、見返し、裏地裁断
34～40	テーラードスーツ ベルト、ファスナー付け、裾始末、再仮縫い	100～104	ベルベットワンピース 縫製
41～45	テーラードスーツ 裏地縫い合わせ、袖地縫い、衿つけ、肩パッドつけ	105～111	ベルベットワンピース 提出
46～52	テーラードスーツ 裏地地縫い合わせ、提出	112～113	ケミカルレース 製図、寒冷紗半身仮縫い、地直し
53～57	サッシュベルト/ファンデーション 製図、裁断、縫製、提出/寒冷紗半身仮縫い、布地直し	114～117	ケミカルレース 寒冷紗両身組立て、テープ、地の目し、仮縫い、後補正、印つけ
58～71	ファンデーション 寒冷紗両身仮縫い、テープ、補正、印つけ、ボーンテープ	118～121	ケミカルレース テープ貼り、本布仮縫い、仮縫い後補正
72～75	ファンデーション 組立て、本仮縫い	122～125	ケミカルレース 縫製
		126～129	ケミカルレース 縫製
		130～133	ケミカルレース 再仮縫い、スカラップつけ
		134～135	ケミカルレース 提出

【成績評価方法】

課題作品7点の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版
上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
教員作成オリジナルプリント『オートクチュール技術』

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式
実物作品、部分縫い見本

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3	授業形態	講義 10 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	江田 泉

既製服(Ready to wear)のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。

【科目の概要】

ファッション産業において生産拠点は海外に移行している時代ではあるが、オリジナルデザインの製作技術の伝承は不可欠である。本授業では色々な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様の理解を深める。各自の創造性を生かした作品を製作発表する

【授業計画】

90分/コマ

前期

後期

プレタポルテ展示会作品
 1・2 製図・トワール組み
 3・4 裁断・実物組み立て
 5・6 縫製
 7・8 縫製
 9・10 縫製
 11・12 縫製・仕上げ

子供服ドレス
 13・14 パニエ製作
 15・16 パニエ製作
 17・18 製図・トワール組み
 19・20 補正・縫代付きパターン作成
 21・22 裁断・縫製
 23・24 縫製
 25・26 縫製
 27・28 縫製
 29・30 まとめ・発表・提出

上田学園コレクション作品
 31・32 製図・トワール組み立て
 33・34 トワール組み・補正
 35・36 補正・裁断・仮縫い組み立て
 37・38 補正・実物組み立て
 39・40 縫製
 41・42 縫製
 43・44 縫製
 45・46 縫製
 47・48 縫製
 49・50 仕上げ・まとめ

レザー作品
 51・52 製図・トワール組み・補正・縫代付きパターン作成
 53・54 裁断・縫製
 55・56 縫製
 57・58 縫製
 59・60 まとめ・発表・提出

【成績評価方法】

課題作品10点の評価 60% 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 オリジナルプリント、実物及び、部分縫い見本
 『スカート』『ブラウス』『ワンピース』『パンツ』『ジャケット』『コート』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、各自サイズのボディ

科目名	パターンキング(含むP. グレーディング)	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

基本パターンから各種デザインパターンへの理論的な展開方法を学び、デザイン・シルエットを表現したパターンの作成から工業用パターンの作成までを修得。

女子衣料の規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う

【科目の概要】

ファッション産業において海外に生産を移行している時代、オリジナルデザイン・シルエットを表現できる技術は、確かなパターン力によるところが大きい。本授業では基本パターンの製図から各種デザインパターンへ理論的に展開し、トワールチェック後、工業パターン作成までの方法の修得、また基本のアイテムのサイズ展開の方法を修得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	1本ダーツ2本ダーツスカート サーキュラスカート・デザインスカート 作図	31・32	製品研究Ⅱ(ワンピース) 作図・トワール組み立てチェック
3・4	デザインスカートⅠ 作図・トワール組み立てチェック 補正・工業用パターン作成	33・34	製品研究Ⅱ(ワンピース) 補正・レポート作成
5・6	グレーディング <概論> <タイトスカート2本ダーツ>	35・36	ジャケット 襟折れ奥ダーツ・袖山ギャザー 作図・トワール組み立て
7・8	グレーディング <フラットカラーブラウス> 前後身頃・襟・袖	37・38	ジャケット 襟折れ奥ダーツ・袖山ギャザー トワール組み立てチェック
9・10	創作子供服 デザイン出し・作図・トワール組み立て	39・40	ジャケット 襟折れ奥ダーツ・袖山ギャザー 裏地パターン作成
11・12	創作子供服 トワール組み立てチェック・補正	41・42	ラグランスリーブのコート 月腰襟の作図・トワール組み立てチェック
13・14	創作子供服 補正・工業用パターン作成	43・44	ラグランスリーブのコート 補正・縫製仕様書
15・16	テーラードマニプレーションジャケット 作図・トワール組み立てチェック	45・46	製品研究Ⅲ(ジャケット) 作図・トワール組み立てチェック
17・18	テーラードマニプレーションジャケット トワール組み立てチェック・補正	47・48	製品研究Ⅲ(ジャケット) トワール組み立てチェック・補正
19・20	テーラードマニプレーションジャケット フルパターン作成・工業用パターン作成	49・50	製品研究Ⅲ(ジャケット) フルパターン作成・工業用パターン作成
21・22	製品研究Ⅰ<ブラウス> 作図・トワール組み立てチェック	51・52	メンズジャケット マスターパターン
23・24	製品研究Ⅰ<ブラウス> 補正・パターン作成	53・54	製品研究Ⅳ(デザイナーのデザイン画より) 作図・トワール組み立て
25・26	ハイネックジャケット 作図・トワール組み立てチェック	55・56	製品研究Ⅳ(デザイナーのデザイン画より) トワール組み立てチェック・補正
27・28	ハイネックジャケット 補正・工業用パターン作成	57・58	製品研究Ⅳ(デザイナーのデザイン画より) 補正・縮尺製図付きレポート作成
29・30	前期テスト	59・60	後期テスト

【成績評価方法】

課題作品20点の評価 60% 期末試験 30 % 授業態度 10 %

以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

江副玲子『ドレーピング3年』最新版 山路俊美『紳士服製図・型紙の作り方』

相尾純子『パターングレーディング』 実物見本 オリジナルプリント

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせて的確な厚さの物)・

シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	ドレーピング	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	前期・後期・ 通年 ・その他()
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間 ・夜間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	渡辺杉子

【科目の到達目標】

各種デザインのディテール、シルエットを表現するテクニックを習得。
服のフォルムに対しての感性を高める。

【科目の概要】

ボディを使用しての立体裁断。
トワールを使用し立体によるデザイン表現を指導、
正確にパターンに落とし込めるよう指導。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	ドレーピング概論	31・32 創作作品
3・4	ドレープ襟のコート	33・34 ↓
5・6	バックにフリルのあるスカート	35・36 ビスチェ
7・8	↓	37・38 ↓
9・10	ジャケット 3面体	39・40 ツィストドレープのブラウス
11・12	↓	41・42 ↓
13・14	カウルネックの入ったブラウス	43・44 ドレープ襟のジャケット
15・16	↓	45・46 ↓
17・18	ショルダー切り替え・テーラードカラー	47・48 ギャザーのブラウス
19・20	1枚袖 ジャケット	49・50 ↓
21・22	プリンセス切り替え・ショールカラー	51・52 ロングドレス
23・24	2枚袖 ジャケット	53・54 ↓
25・26	変わりテーラード ワンピース	55・56 創作ドレス
27・28	↓	57・58 ↓
29・30	テスト	59・60 テスト

【成績評価方法】

立体においてのトワールの扱い・ピンの打ち方・デザインの表現力を 課題評価60% 試験評価 30%
授業研究態度10%
以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する

【教科書・参考書】

ドレーピング3年江副玲子

【教材・教具】

実寸製図用具・トワール(デザインに合わせて的確な厚さの物)・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	デザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 35% 実習 65%
時間数	60	作成者	濱屋 但

【科目の到達目標】

多様化するファッション業界の現状とマーケットのあり方を分析し、アパレル企画を立案する。
合わせて、分析力・発想力・表現力・計画性などを身につける

【科目の概要】

1・2年次に学んだ基礎知識をもとに、新たな情報やトレンドなどをプラスして企画を立案する

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1	アパレル業界概要と就職指導	16	外部コンテスト
2	ブランド企画	17	外部コンテスト
3	ブランド企画	18	デザイン発想
4	ブランド企画	19	デザイン発想
5	ブランド企画	20	プレゼンテーション
6	ブランド企画	21	デザイン発想
7	ブランド企画	22	デザイン発想
8	ブランド企画	23	プレゼンテーション
9	ブランド企画	24	まとめ
10	ブランド企画	25	上田コレクション出品作品より
11	ブランド企画	26	上田コレクション出品作品より
12	プレゼンテーション	27	上田コレクション出品作品より
13	プレゼンテーション	28	プレゼンテーション
14	復習とまとめ	29	復習とまとめ
15	前期末テスト	30	後期末テスト

【成績評価方法】

課題 60%(小テスト含む) 試験 30% 出席 10%

【教科書・参考書】

ファッションマーケティング スタイリングブック

【教材・教具】

筆記用具 着色用具 カラーカード ファッション雑誌 他

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的のもの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画 90分/コマ】

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	高瀬博文

【科目の到達目標】

主として近世(ルネサンス)から現代美術に至る知識を獲得し、これまでの流れを踏まえ、その先端としての創作ができる人材を育成する。

【科目の概要】

初期ルネサンス美術から20世紀後半の西洋美術の歴史を通覧するとともに、各時代の代表的な画家や作品について解説する。また二回に一回(30分程度)4~5人である作品について考え結論を出すというグループワークを行う。

【授業計画 90分/コマ】

- 1 初期ルネサンス美術1: マザッチョ、ピエロ・デラ・フランチェスカ、ボッティチェリなど
- 2 初期ルネサンス美術2: ルネサンス美術の特徴、遠近法(透視図法)とはなにか
- 3 盛期ルネサンス1: レオナルド・ダ・ヴィンチについて
- 4 盛期ルネサンス2: ミケランジェロ、ラファエロなど
- 5 マニエリスム美術: ティントレット、ブロンズイーノなど
- 6 バロック美術: ヴェルフリンによるバロック美術解釈、ルーベンス、ベラスケスなど
- 7 ロココ美術: ロココの特徴、ヴァトー、フラゴナールなど
- 8 19世紀の美術1: 新古典主義、ロマン主義
- 9 19世紀の美術2: レアリスム、マネの作品、印象主義
- 10 19世紀の美術3: 後期印象主義、世紀末美術
- 11 古代~中世の美術1
- 12 古代~中世の美術2
- 13 20世紀の美術1: キュビズム、ダダイズム、シュルレアリスムなど
- 14 20世紀の美術2: 第二次世界大戦後の美術
- 15 全体のまとめ、テスト問題の傾向

【成績評価方法】

平常点(演習問題、グループワーク、授業態度など)50%、テスト(期末一回)50%で評価を行う

【教材・教具】

教科書: 千足伸行監修 『新西洋美術史』(西村書店)

【教材・教具】

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100%
時間数	30	作成者	秦野知邦
【科目の到達目標】 ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。			
【科目の概要】 ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。 最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。			
【授業計画 90分/コマ】 1 世界のコレクションとプロモーションについて 2 即戦力⇒企業が求める人材とは 3 プロフェッショナルとはについて話 4 セレクト系・メーカー系・グローバル系SPA AIについて 5 タイプ別SPAのショップをリサーチする 6 タイプ別SPAを比較して分析する 7 就活用としてのリサーチ資料を作成する 8 資料内容をグループミーティングでプレゼン ンする 9 ファッションビジネスのトレンドを追う 10 ファッションビジネスのトレンドを検証する 11 ファッションブランド戦略について 12 ブランディング・ブランドエクイティについて 13 即戦力としての計数知識 14 仕事への自覚と準備 15 期末テスト			
【成績評価方法】 ・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 30% ・ 期末試験 30%			
【教科書・参考書】 日経MJ ・ 織研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント			
【教材・教具】 ノート ・ 筆記用具			